

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.51



⑤ 小玉川地区

小玉川集落対岸の三角山には大窪と呼ばれる窪地があります。そこにはかつて山城があり、『小国町の文化財』（小国町誌編集委員会編 1999年）によると天文九年（1540年）に発生した天文の乱の際に落城しました。現在も土塁や堀切、段状平地などが残されており、当時の様子をうかがい知ることができます。